

ごみの減量・再資源化に関する市民説明会 概要
【塩田公民館】

1 開催概要

開催日時		令和 8 年 7 月 21 日(火) 19:00～20:00
開催場所		塩田公民館 大ホール
出席者	市民	35 名
	行政(市職員)	環境部長、 ごみ減量企画室職員 3 名、廃棄物対策課職員 2 名 資源循環型施設建設関連事業課 2 名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	リサイクル	(1)焼却灰の一部は建築資材にリサイクルされるとのことだが、どんな建築資材にリサイクルされるのか。 (2)費用はどの程度か。	最終処分場がないため、現在は全量県外の施設で再度焼却して細かくし、コンクリートの骨材等にリサイクルされている。 (2)リサイクルされた建築資材は販売されておりその差引分がリサイクル費用となるが、令和 7 年度は 8 千万円程度である。
2	資源物の出し方	雑がみで、子供のテスト用紙などは名前が書かれており、そういった個人情報のある紙類を雑がみとして出しても、プライバシー的に問題はないのか。	回収業者が口外することはない。 個人情報といった中身を見ることも当然ないが、ご心配な場合には、個人情報部分を切り取る、マジックで消すなどし、引き続き資源物としての排出にご協力いただきたい。
3	ごみ量の減少	燃やせるごみが減少傾向にある理由は、人口減少以外に何か考えられるのか。	人口減少のほか、新型コロナ以降、生活様式が変わったことが大きいと思われる。スーパー等でのカット野菜やカットフルーツの販売ブースが増えたことや、家庭で料理をする回数が減り生ごみが減ったと思われることなどが、ごみ量が減少傾向にある要因であると捉えている。

4	資源循環型施設	資源循環型施設は、騒音やパッカー車の排ガス低減のためにコンパクトにするとのことだが、何かモデルとした施設はあるのか。	他の施設を参考にしながら、施設周辺地域の環境負荷低減のためにコンパクトな施設としている。最新の設備となり廃ガス等の排出も抑えられるがゼロにはならないので、環境負荷低減のためにも引き続きごみの減量、分別にご協力いただきたい。
5	既存クリーンセンター	(1)既存の焼却施設はどうなるのか。 (2)施設の跡地利用の考えはあるか。	(1)資源循環型施設の稼働に合わせ、既存のクリーンセンターは解体取壊しとなる。 (2)跡地利用については、上田地域広域連合と上田市で検討中であり、地元の皆さんと協議をしながら進めてまいりたい。